

## 登録団体概要書

( 2024 年 2 月作成)

(ふりがな) 団 体 名		(とくていひえいりほうじん へんろとおもてなしのねっとわーく) 特定非営利活動法人 遍路とおもてなしのネットワーク	
代表者職・氏名		理事長 半井 真司	
主たる事務所の 所 在 地		〒761-0144 高松市高松町 2306-3 イーグルビル 3階	
連 絡 先 等		電 話	087-814-5459
		F A X	087-814-5459
		e - mail	info@omotenashi88.net
		ホームページ	https://www.omotenashi88.net
法人設立年月		18年 6月	正会員数 370人
活 動 目 的 (定款に記載された目的)		香川県民をはじめ四国 4 県の県民に対して、四国遍路とおもてなし文化の活性化に関する事業を行う。 (1) 社会教育の推進を図る活動 (2) まちづくりの推進を図る活動 (3) 学校、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 (4) 環境の保全を図る活動	
主たる活動分野			
活 動 状 況	主 な 活 動	一日一斉おもてなし遍路道ウォーキング、親子お遍路ウォーキング、石柱設置、歩き遍路大使・自転車遍路大使の任命書授与、シンポジウムの開催、遍路関係団体との交流協議、おもてなしステーションの登録、香川県内在住外国人の遍路体験（香川県国際課主催）への協力等。	
	活 動 地 域	香川県を中心とした四国一円。	
	活 動 頻 度	・石柱設置、遍路大使任命書の授与、遍路関係団体との交流協議、おもてなしステーションの登録は随時。 ・一日一斉おもてなし遍路ウォーキングは年1回、毎年実施。 ・親子お遍路ウォーキングは年4回、毎年実施。 ・四国遍路に関するシンポジウムは年1回、毎年実施。 ・香川県内在住外国人の遍路体験（香川県国際課主催）への協力は年2回、毎年実施。	
	過 去 の 事 業 実 績	・親子お遍路ウォーキング（設立時から実施し、延べ約 3,200 名の親子が参加。） ・石柱設置（設立時から実施し、四国 4 県で 119 基を設置。） ・遍路大使任命書授与（2004 年から実施し、40,000 名以上に授与、） ・一日一斉おもてなし遍路道ウォーキング（2016 年から実施し、第 9 回では 9,300 名の申込みがあった。） ・四国遍路展をスペイン（2017年）・フランス（2019年）で開催。	

<p>今後の活動方針</p>	<p>次世代への四国遍路文化継承を目的とする「親子お遍路ウォーキング」、道しるべの充実をはかる「石柱設置」事業、お接待文化の活性化を目的とする「おもてなしステーションの登録」、「歩き遍路大使・自転車遍路大使の任命書授与」、「シンポジウム」の実施、遍路関係団体との交流協議等は引き続き継続して行う。</p> <p>2025年2月23日に実施する第10回「一日一斉おもてなし遍路道ウォーク」では参加者目標を10,000名に設定し、自治体や企業団体にも積極的な参加を呼びかけ、四国遍路世界文化遺産登録に向けた気運醸成に貢献したい。今後、その登録に向けた取り組みの中で、当イベントは地域コミュニティの積極的なかわりをするものとして重要な役割を果たしていくと考える。</p> <p>かけがえのない四国遍路の文化を後世に確実に残していくために、当NPOの果たすべき役割は益々大きくなっていくと確信している。</p>
<p>県民へのPR</p>	<p>遍路文化は四国の財産であり、世界に通ずる普遍的な文化資産です。ストレスが多い現代の日本で、四国遍路は癒しを与え、さらには「自分とは何者か」という自分探しや生きることに迷いを感じる人たちにも多くの「答え」を返してきました。</p> <p>遍路道を歩いて見れば、そこには素晴らしい四国がちりばめられていることが分かります。お接待を受け、そこから生まれる感謝の思いや地元の人たちとの交流が今を生きる人々を救い、遍路を訪れる世界中の人々を、心と心でつないできました。</p> <p>四国遍路世界文化遺産として認定されるように今後も四国遍路、おもてなし文化の普及・啓発を行っています。</p> <p>一日一斉おもてなし遍路道ウォーク、親子お遍路ウォーキング、シンポジウムなど参加できるイベントがあれば、ぜひ気軽にご参加ください。当NPOの活動に理解と関心を深めていただき、応援いただければと思います。皆様のご参加をお待ちしています。</p>

(注1) 団体登録された場合、この概要書は、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

## 活動状況報告書

( 2024 年 2月作成)

団体名 特定非営利活動法人 遍路とおもてなしのネットワーク

登録要件	登録要件に関する団体の活動状況等
<p>広く県民を対象とする N P O 活動を行っていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遍路文化・おもてなし文化の活性化に取り組んでいる。</li> <li>四国遍路に関わる活動の為広く四国 4 県を対象にするものもあるが、一般参加の行事、特に「親子お遍路ウォーキング」は香川県民に応募を呼び掛けている。NPO 創立以来毎年継続して実施し、順次香川県内の霊場寺院を日帰り巡っている為、継続して参加すれば県内 23 霊場をすべて廻ることが出来る。</li> <li>・ NPO 総会時に毎年香川県内でシンポジウムを開催している。四国遍路やおもてなし文化に関する記念講演とパネルディスカッションを行い、香川県民に遍路文化・おもてなし文化の普及・啓発を行っている。</li> <li>・ 四国遍路道約 1,200km を地元の人を中心に一日で一斉にそれぞれの区間を分かれて歩き、遍路道が安全か、道案内が適切か、休憩場所やトイレは整備されているかなどを点検するイベント「一日一斉おもてなし遍路道ウォーク」では、幅広く県民に参加を呼び掛けている。2024 年に実施した第 9 回では香川県内だけで 4,377 名のお申込みをいただいた。様々な活動を通じて四国遍路の世界遺産化の機運醸成を目指したい。</li> </ul>
<p>より公益性の高い N P O 活動を行っていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四国の貴重な文化遺産である四国遍路とおもてなし文化の活性化を図る為の活動を行っている。</li> <li>・ 活動の多くは四国遍路の世界文化遺産登録に向けて、地元の盛り上がりや四国遍路への関心を高め、機運の醸成を図ることを目的に行っている。</li> <li>・ 一般参加の行事親子お遍路ウォーキング・一日一斉「おもてなし遍路道ウォーク」は遍路に対して親しみをもち、四国、香川県民としての誇りを持てる行事となっている。</li> <li>・ 遍路大使任命書の授与は歩き遍路や自転車遍路の方たちに好評で歩き遍路や自転車遍路の動機付けになっている。</li> </ul>

<p>活発なNPO活動を継続的に行い、当該活動に発展性及び模範性があること</p>	<p>・当NPOは2006年6月15日設立し、設立前の活動を含めて四国遍路に関わる多岐にわたる活動を継続している。主な活動内容として道しるべの充実をはかる「石柱設置」事業、お接待文化の活性化を目的とする「おもてなしステーションの登録」、「歩き遍路大使、自転車遍路大使の任命書授与」、「シンポジウム」の実施、遍路関係団体との交流協議等がある。</p> <p>特に大きな活動として、次世代への四国遍路文化継承を目的とする「親子お遍路ウォーキング」では、子供も成長に伴い順次参加メンバーが入れ替わっていくが、新しいメンバーの参加が続いている。将来、遍路文化を風化させることなく、その文化を担う大人になってほしいと願っている。</p> <p>2024年2月23日に実施した第9回「一日一斉おもてなし遍路道ウォーク」では申込みが9,300名となり、年々参加者数が増えている。点検する遍路道も四国全体となりいずれも発展性、模範生がある。参加者の点検報告結果は、四国遍路世界遺産登録推進協議会の「受入態勢の整備」部会で報告し、より良い遍路道整備に役立てられている。第10回では、参加者目標を10,000名に設定し、自治体や企業団体にも積極的な参加を呼びかけ、四国遍路世界文化遺産登録に向けた気運醸成に貢献したいと考える。</p>
-------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(注1)この報告書は、団体の活動内容が登録要件を満たしているかを審査するための資料として用い、また、団体登録された場合、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2)枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(注3)活動の状況等が分かる資料等があれば添付ください。